

## 2018年9月期 第2四半期決算説明資料

2018年5月31日

### ステークホルダーの皆様へ

当社は、2018年5月10日に2018年9月期第2四半期決算を発表いたしました。引き続き**計画を上回る業績**を残すことができ、これもひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物と感謝しております。

当第2四半期におきましては、既存事業の安定的な成長に加え、昨年12月に連結子会社化した**株式会社りーふねつ**が**業績へ貢献**しております。また、**サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」**におきましても積極的に販売活動を行い、**複数の企業様が試験導入を実施、高評価**を頂戴しております。

当社グループは、あらゆるモノがインターネットを介してつながる**「IoT/IoE社会 = Connected World」**の到来を見据え、「IoT/IoEソリューション」を成長戦略の柱のひとつとしております。今後は、**『最強そして究極のサイバーセキュリティ製品』**と**言われる「AppGuard®」の技術**を基に**「Connected World」におけるセキュリティ強化まで当社グループがリード**してまいりたいと考えております。

また、積極的な新卒採用活動を実施した結果、**本年も多くの優秀な人材が当社グループへ入社**いたしました。

当社グループは、これからも**「安心・安全・豊かな社会」**を実現すべく、**「IoT/IoE社会 = Connected World」**、**「IIOT = Industrial Internet of Things (産業分野におけるIoT)」**、**「自動走行・自動運転・Connected Car」**、**「デジタルサイネージ」**、**「VR/AR」**、**「AI」**、**「ロボット」**等へのソフトウェア技術提供に加え、**「M&A戦略」**によりグループの拡大を図り、皆様のご期待にお応えしてまいります。

引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。

PCIホールディングス株式会社  
代表取締役社長



## 1. 既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により前期実績を大幅に上回る売上高予想 ⇒ P4

<2017/9 連結売上高>

通期実績: **11,397百万円**

(前期比34.0%増)

<2018/9 連結売上高>

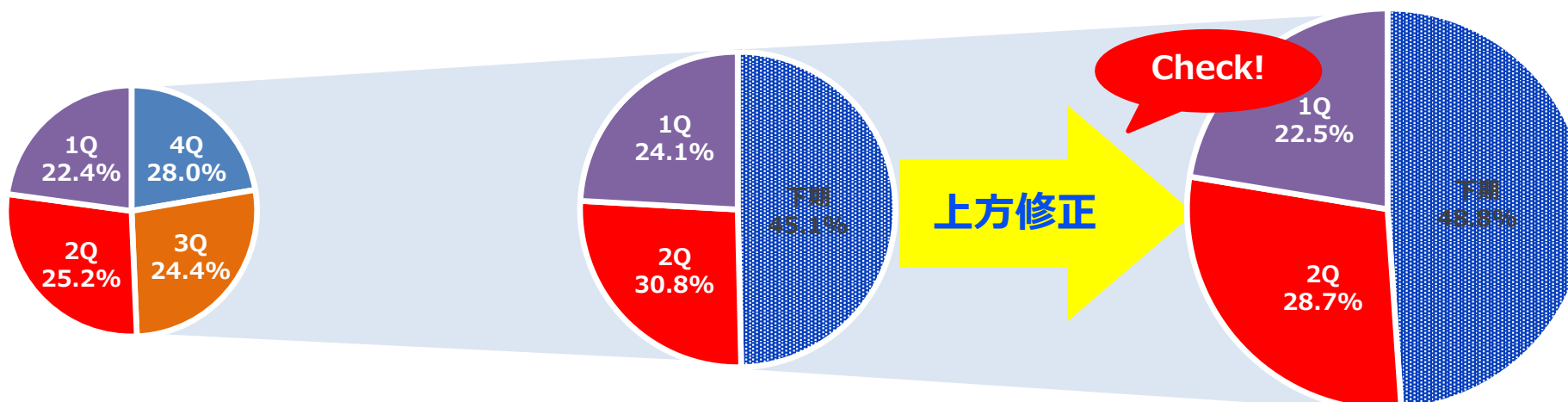
通期予想: **13,300百万円**

(前期比16.7%増)

<2018/9 連結売上高>

通期予想: **14,300百万円**

(前期比25.5%増)



## 2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた研究開発にも注力 ⇒ P9~

- 車車間通信を可能にする **「V2X」**
- コミュニケーションツール **「A-ya」**、AR/VRを活用したエンタテインメントアプリ **「こことろ」**
- 情報セキュリティ分野への取り組み **「AppGuard®」**

1. 決算概要	3 ページ
2. 実用化されたIoT/IoE技術	9 ページ
3. 中期ターゲットと株主還元方針	15 ページ
4. 第2四半期決算後の開示情報について	18 ページ
5. 参考資料	23 ページ

証券コード 3918  
東証一部上場

## PCIホールディングス株式会社

### PCIグループ

- PCIソリューションズ株式会社
- PCIアイオス株式会社
- 株式会社シスウェーブ
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと
- Safer Connected World株式会社 (2018.6.1新設)



# 1. 決算概要 (<http://pci-h.net/>)



# 2018年9月期 第2四半期決算業績サマリー



**売上高**：7,308百万円（前年同期比34.8%増）。完全子会社化した株式会社りーふねつとが当第2四半期より業績寄与。

エンジニア稼働率及びビジネス・パートナー稼働数が計画比順調。

**売上総利益**：2,016百万円（前年同期比52.3%増）。好調な売上高成長、高収益案件獲得等の収益構造改革により続伸。

**営業利益**：494百万円（前年同期比13.0%増）。株式会社シー・エル・シーの収益構造（売上高の上下比が約2：1）の影響により上期偏重。本社移転関連費用、人材の適正配置（新規事業、採用）による一時的な押し下げ発生。グループ内研究開発投資を継続し、先端技術の「IoT/IoE社会=Connected World」への活用を目的に、事業投資を継続実施。

(百万円)	17年9月期			18年9月期（計画）					通期計画 進捗率
	第1半期 実績	第2半期 実績	上期 実績	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	上期 計画	通期計画	
売上高	2,554	2,867	5,422	3,210	4,098	7,308	6,700	14,300	51.1%
売上総利益	633	690	1,324	749	1,266	2,016	1,828	-	-
(売上総利益率)	24.8%	24.1%	24.4%	23.3%	30.9%	27.6%	27.3%	-	-
営業利益	222	215	437	60	433	494	443	730	67.8%
(営業利益率)	8.7%	7.5%	8.1%	1.9%	10.6%	6.8%	6.6%	5.1%	-
経常利益	223	217	440	80	436	516	446	762	67.8%
(経常利益率)	8.7%	7.5%	8.1%	2.5%	10.6%	7.1%	6.7%	5.3%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	140	146	286	158	129	288	326	455	63.3%
(当期純利益率)	5.5%	5.1%	5.3%	4.9%	3.2%	3.9%	4.9%	3.2%	-
EPS	-	-	76.38円	-	-	71.01円		110.18円	-



# <参考資料> 事業区分の推移について

2016年9月期

2017年9月期

2018年9月期

情報サービス事業

ITソリューション事業

ITソリューション事業

エンベデッド  
ソリューション事業

エンベデッド  
ソリューション

エンベデッド  
ソリューション

ビジネス  
ソリューション事業

ビジネス  
ソリューション

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション事業

IoT/IoE  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション事業

POINT!

半導体トータル  
ソリューション事業

半導体トータル  
ソリューション事業



## エンベッドソリューション

～前年に引き続き、好調に推移～

- 高度な技術を要する**エンベッド技術者育成**に努めると共に、車載情報系案件からより参入障壁の高い**車載制御系案件の受注に注力**。顧客企業への提案型開発アプローチも推進。
- **安全運転支援システムを搭載したスマートカー**開発関連案件が引き続き好調に推移し、既存顧客からの安定した引き合いが継続。
- **車載系 ECU 開発**においてモデルベース開発案件や AUTOSAR 開発案件が拡大、**継続営業と自動車分野が好調**。

## ビジネスソリューション

～BP強化で事業規模が拡大～

- 既存取引先との**深耕拡大及び新規顧客の開拓**に努め、大手企業からの新規受注が増加。**収益構造の改善**に向けた各種施策も奏功
- 多岐にわたる顧客需要に応えるべくビジネスパートナーとの**更なるアライアンス強化**に取り組む。企業向けソフトウェア開発においては、**金融機関向け案件が好調に推移**。
- 前連結会計年度に子会社化した株式会社シー・エル・シーが展開する**メインフレーム分野**で多くの金融系顧客企業の**決算駆け込み需要を追い風に受注が増加し業績貢献**。

## IoT / IoE ソリューション

～自動車向け、エネルギー業界向けは好調に推移～

- 新たに連結子会社となった**株式会社りーふねつと**が展開するソリューション事業分野及び通信事業分野が**収益に大きく寄与**。
- 建設機械業界における「**インダストリアル IoT**」への**取り組み**を背景に、当社グループが得意とする通信制御技術をコア技術とした**重機・建機分野案件が堅調に推移**。
- サイバーセキュリティソフト「**AppGuard®**」の販売及び付随サービスの**提供開始**。

## 半導体トータルソリューション事業

～主要顧客からの引き合いが好調に推移～

- システム分野において**半導体関連事業者以外の機械系企業**からの商談が増加
- **電気自動車や自動運転車向け及び IoT 向け半導体需要**の増加による国内外半導体市況の好調を背景に**主要顧客からの引き合い強い**。
- リソース調整及びスポット対応、並びにビジネスパートナーとのリレーションにより**受注案件を積み上げ収益拡大**

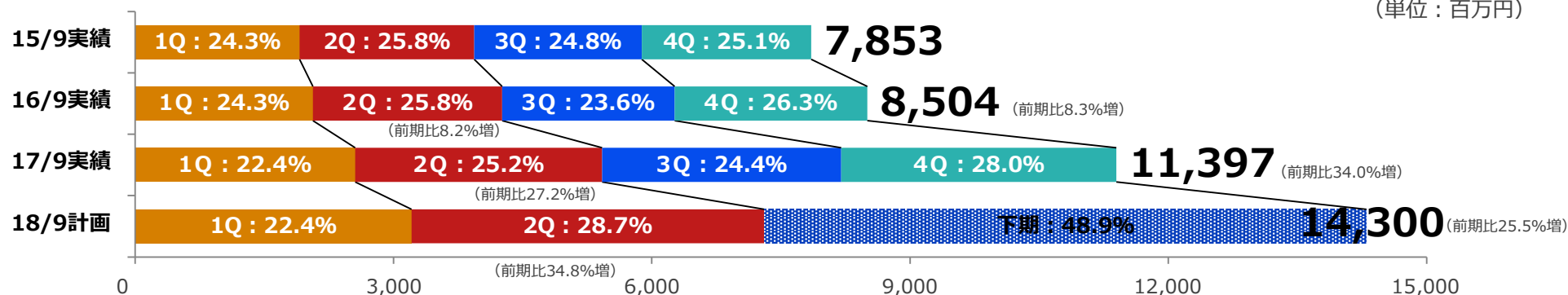


# 業績推移 (サマリー)

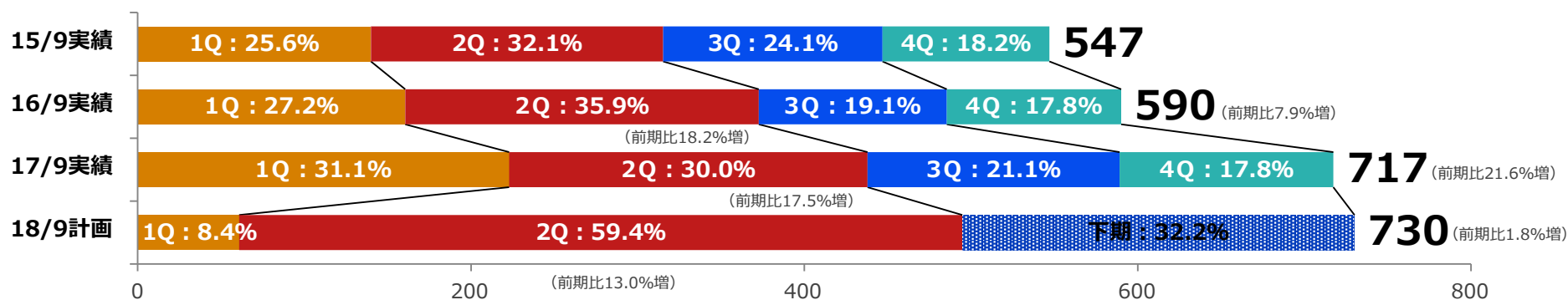


(単位：百万円)

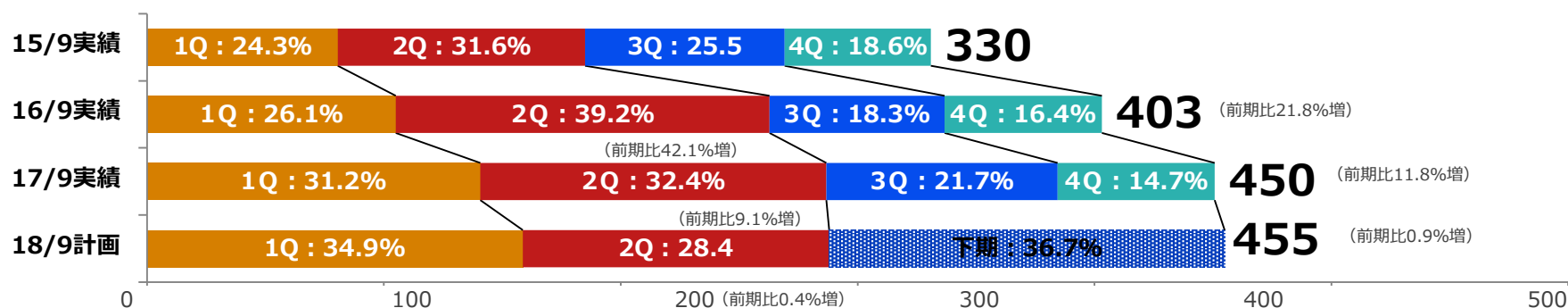
## 売上高



## 営業利益



## 当期純利益



IR Movies



(百万円)	2017年9月期				2018年9月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期	通期計画
<b>売上高</b>	<b>2,554</b>	<b>2,867</b>	<b>2,779</b>	<b>3,195</b>	<b>3,210</b>	<b>4,098</b>	<b>7,308</b>	<b>14,300</b>
エンベデッドソリューション	977	1,076	1,092	1,159	1,160	1,207	2,368	-
ビジネスソリューション	1,058	1,141	1,160	1,452	1,519	1,999	3,519	-
IoT / IoE ソリューション	192	216	131	162	86	415	502	-
半導体トータルソリューション	325	432	395	420	443	474	917	-
売上原価	1,920	2,177	2,136	2,463	2,461	2,831	5,292	-
<b>売上総利益</b>	<b>633</b>	<b>690</b>	<b>642</b>	<b>732</b>	<b>749</b>	<b>1,266</b>	<b>2,016</b>	<b>-</b>
エンベデッドソリューション	227	259	225	218	241	280	521	-
ビジネスソリューション	222	235	233	328	335	604	940	-
IoT / IoE ソリューション	71	76	43	63	23	234	257	-
半導体トータルソリューション	111	119	140	121	149	146	296	-
販管費	411	475	491	604	688	832	1,521	-
<b>営業利益</b>	<b>222</b>	<b>215</b>	<b>151</b>	<b>128</b>	<b>60</b>	<b>433</b>	<b>494</b>	<b>730</b>
営業外収益	1	2	1	7	22	7	30	-
営業外費用	0	0	1	2	3	5	8	-
<b>経常利益</b>	<b>223</b>	<b>217</b>	<b>151</b>	<b>133</b>	<b>80</b>	<b>436</b>	<b>516</b>	<b>762</b>
<b>税前利益</b>	<b>223</b>	<b>217</b>	<b>151</b>	<b>113</b>	<b>179</b>	<b>280</b>	<b>460</b>	<b>-</b>
法人税等	82	71	54	47	21	151	172	-
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>140</b>	<b>146</b>	<b>97</b>	<b>66</b>	<b>158</b>	<b>129</b>	<b>288</b>	<b>455</b>



## 2. 実用化されたIoT/IoE技術 [\(http://pci-h.net/\)](http://pci-h.net/)



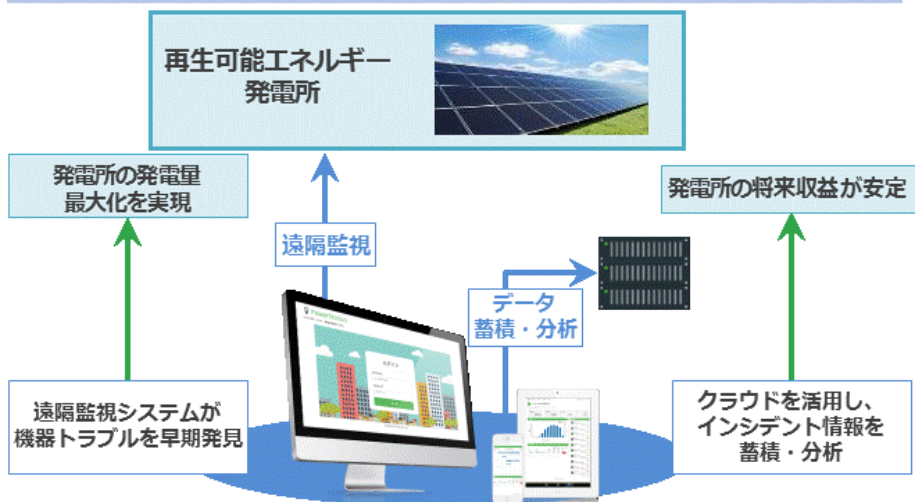
Copyright (C) 2018 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.



## 「Power Station」

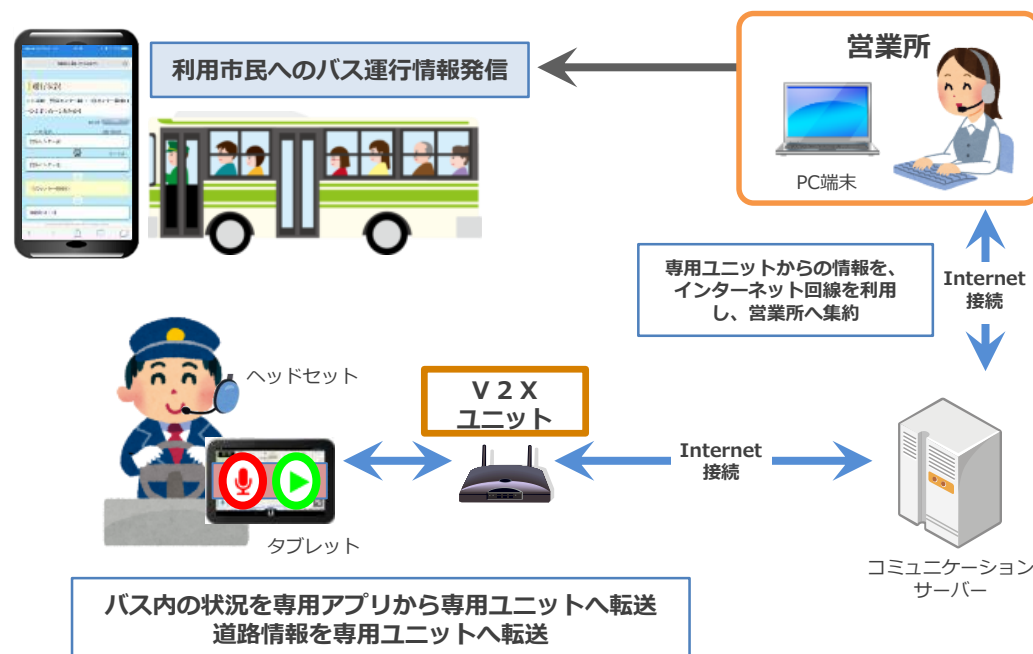
再生可能エネルギー発電所の運用・維持管理業務（O & M業務）を支える統合管理システム。当社のIoT技術の活用によりした入手したさまざまな情報を収集・分析を行い、機器トラブルの早期発見、発電量の最大化を実現。

### Power Stationを用いた再生可能エネルギー発電所運営の仕組み



## 「バスロケーションシステム」

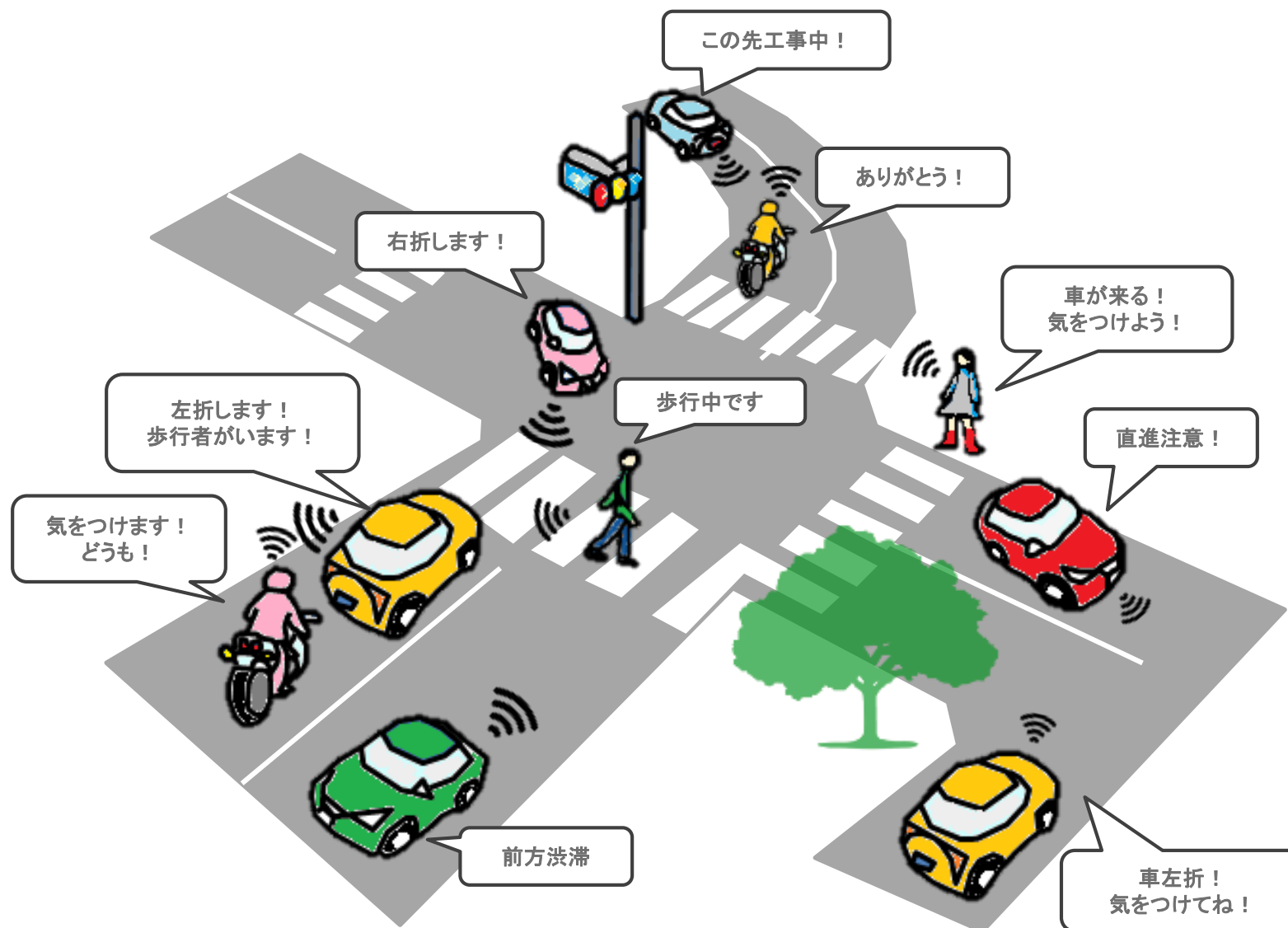
2017年4月1日 神戸市バス全路線にてサービス開始



## V 2 X (Vehicle to X) : 車車間通信

V 2 Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は **V 2 Xユニットのソフトウェア開発**と **V 2 Xを活用した新サービスの提案**を実施。



ヒトとあらゆるモノを結びつける  
IoT時代に最適な  
コミュニケーションツール

# A-ya



## 特徴

- BLE技術を使い、低消費電力で稼働します。
- 双方向通信を実現。
- 出力調整により有効通信範囲を可変できます。
- ビッグデータの収集ポイントとして活用可能。
- ヒト側、モノ側それぞれにSDKを準備。
- 最少開発期間で既存システムに組み込み可能です。



いまや多くの人が持つスマートフォンをヒト側のインターフェイスとして位置付け、身の回りにある様々な機器と能動的にコミュニケーションをとることで、便利で快適な日常を創りだすことを目的に開発されたのが、『A-ya』です。

## 活用事例



**①通常時**  
サインボードにあらかじめ保存されているコンテンツを順次表示



**②オーディエンス接近時**  
A-yaアプリをインストールしたスマートフォンなどの端末が接近すると、興味リストに応じて、サインボードへの表示内容を変更。



**④ボタンをポン**  
気になる情報はA-yaボタンで。URLをスマートフォンに送信

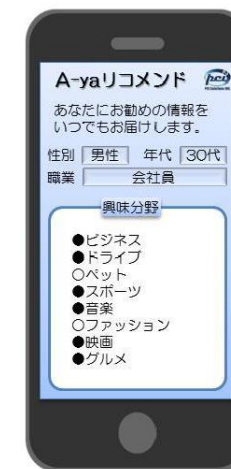


**⑤情報表示**  
URLタップで、目的の情報ページ（ランディングページ）を表示



**③スマホPush**  
サインボードに興味ある情報が表示されていることを、スマートフォンにPush通知

初期設定画面例



※画面は一例です。デザインや興味分野はカスタマイズ可能です。



# 『こことろ』アプリを利用したエンタテインメント

☆AR/VRを活用したエンタテインメントアプリ『こことろ』

👉 京都府と京都府観光連盟を中心とした位置情報活用アプリ



設定ポイントで撮影

AR画像の表示 & 記念撮影が可能！



# 情報セキュリティ製品『AppGuard®』の取り扱い開始

IoT/IoE社会のサイバーセキュリティ技術の向上のみならず、セキュアなコミュニケーション環境の提供による「安心・安全・豊かな社会の実現」への貢献を目指し、株式会社Blue Planet-worksへ出資。

## 「AppGuard®」テクノロジーについて

＜特徴＞ ① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 18年以上破られたことのない実績

＜採用実績＞ 米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

＜主要株主＞ ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

### PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

### 軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

### アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



### 3. 中期ターゲットと株主還元方針 (<http://pci-h.net/>)



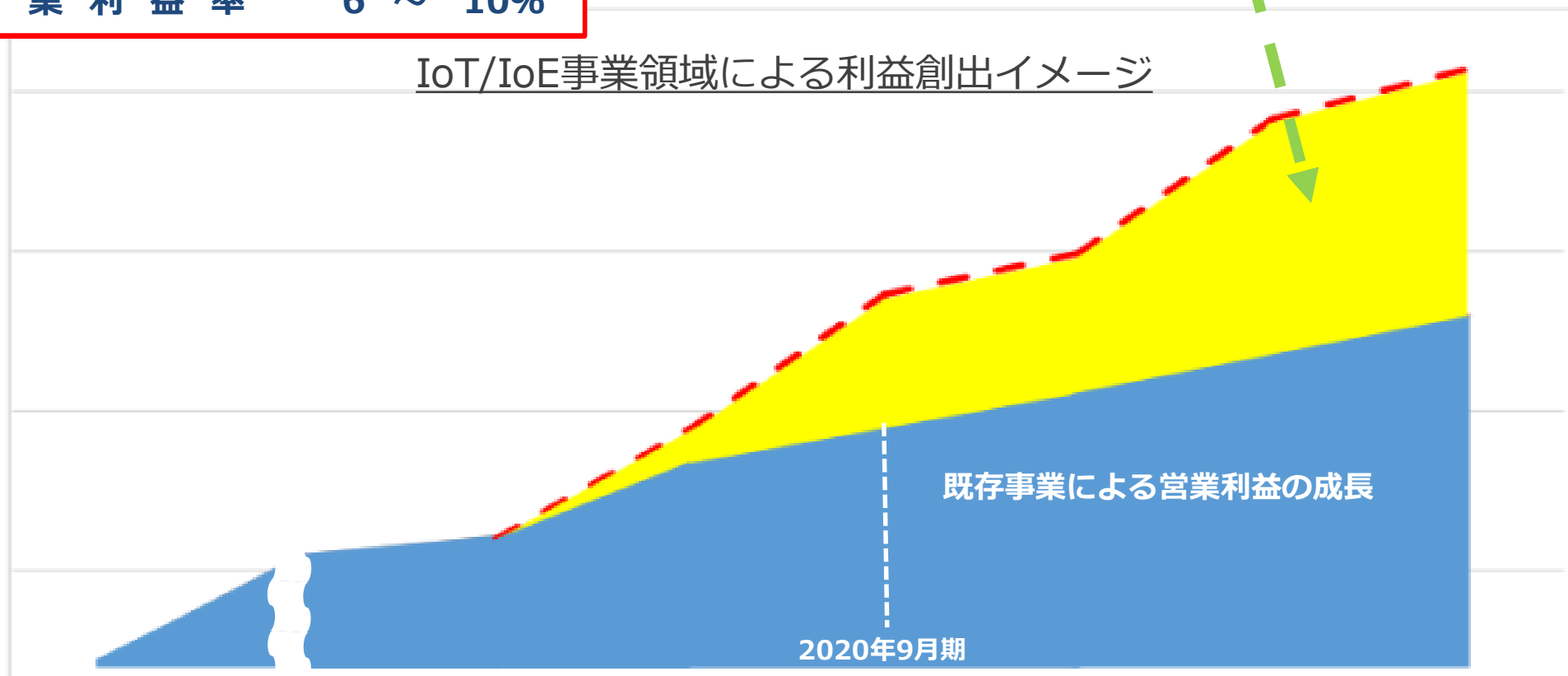


## 中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域  
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)  
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用、デジタルサイネージ等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。

## 株主還元方針

**安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上**  
**[連結配当性向：30%～50%を目安とする]**

## 配当推移

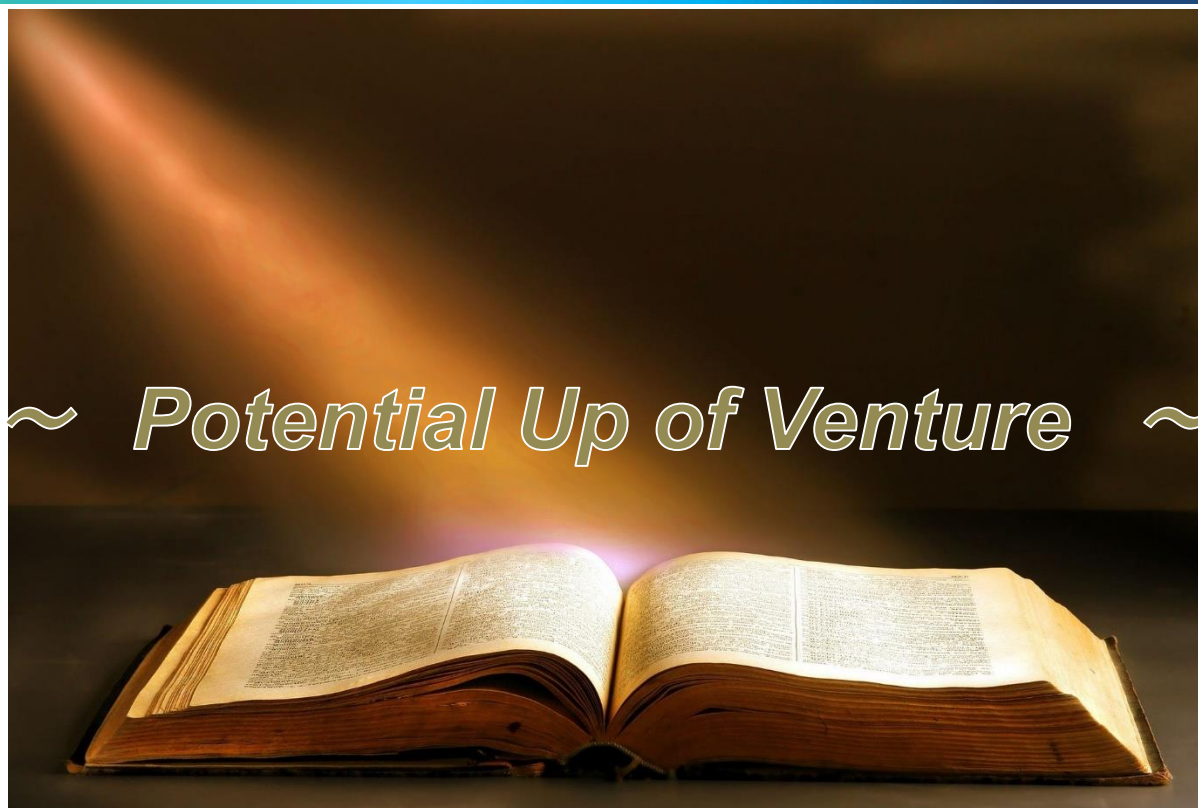
	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	50円 (普通配：50円)
配当性向	—	—	34.0%	42.1%	41.7%	45.4%

(注) 平成27年3月23日付で普通株式1株につき100株、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
 上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

## 自己株式の取得

**一層の株主還元の充実**及び**機動的な資本政策の実施**による資本効率向上を目的に、  
 自己株取得を実施

## 4. 第2四半期決算後の開示情報について



## 新会社設立

サイバーセキュリティ分野の充実を目的に  
株式会社Blue Planet-worksと**専門事業会社を共同設立**

## 社名

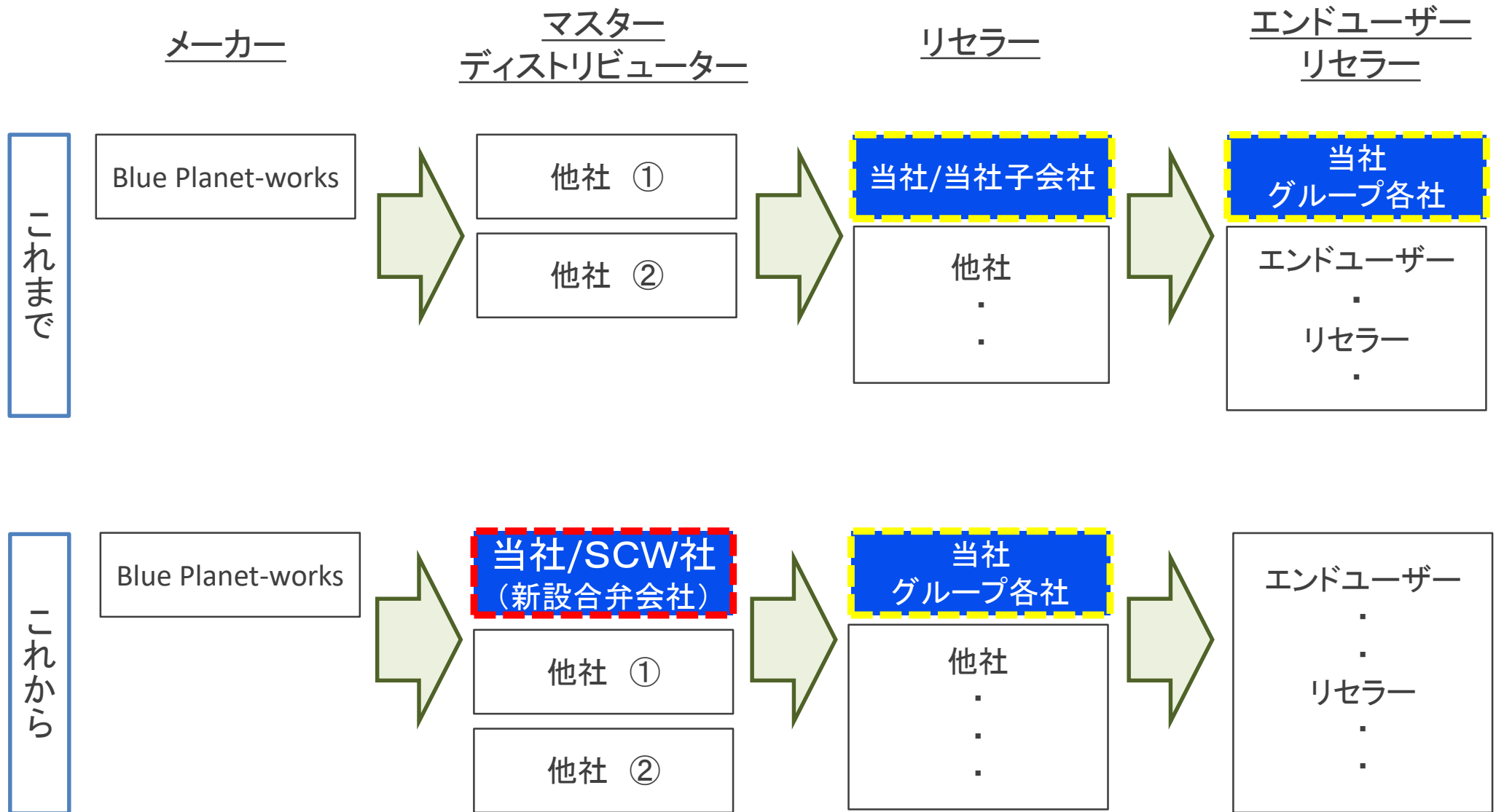
**Safer Connected World株式会社**（略称：SCW）  
（英文社名：Safer Connected World, Ink.）

## 代表

当社 代表取締役社長 原口 直道 が就任予定

## 事業目的

「AppGurad®」のマスターディストリビュータとして、  
サイバーセキュリティ分野を主な事業領域とする。



## 業務提携

大興電子通信株式会社（証券コード：8023、東証2部）と  
**「AppGuard®」テクノロジー事業**における業務提携契約を締結

## 提携内容

- 1) **「AppGuard®」のマスターディストリビューター**として、製品流通に加えマーケティング活動においても、メーカーであるBlue Planet-works社と**三社共同で推進**する
- 2) **「AppGuard®」テクノロジー**に関する包括的な販売戦略をBlue Planet-works社を含めた**三社共同で実行**する。具体的には、**① ビジネスの拡大、② 関連技術の習得、③ 技術者育成**について連携する

## 資本業務提携並びにグループ子会社株式の取得

株式会社バイテックホールディングス（証券コード：9957、東証1部）との**資本業務提携**並びに同社**グループ子会社**バイテックシステムエンジニアリング株式会社の**株式取得（子会社化）**に向け基本合意。**同社グループの植物工場事業**に対して当社が**一部出資**し、同事業に係る**システム開発を受託済**。

## 協議開始の理由及び目的

- 1) 技術領域と機能の拡充・・・車載機器・大手電機・産業機器メーカー向けの開発案件を**One Stopで提供可能**
- 2) 技術連携による新たな事業の創造・・・**IoTソリューション**の新規顧客・商材の拡充並びにセキュリティ製品**AppGuard®の拡販**及び**AppGuard®を活用したソリューション提案**

## 資本業務提携の内容

シナジー効果の最大発揮を目的に、**株式の相互保有**を予定

## 5. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**





## 企業理念

我々は、お客様の満足を通じて全社員の幸せを追求し、  
そして社会の発展に貢献します。

## 行動方針

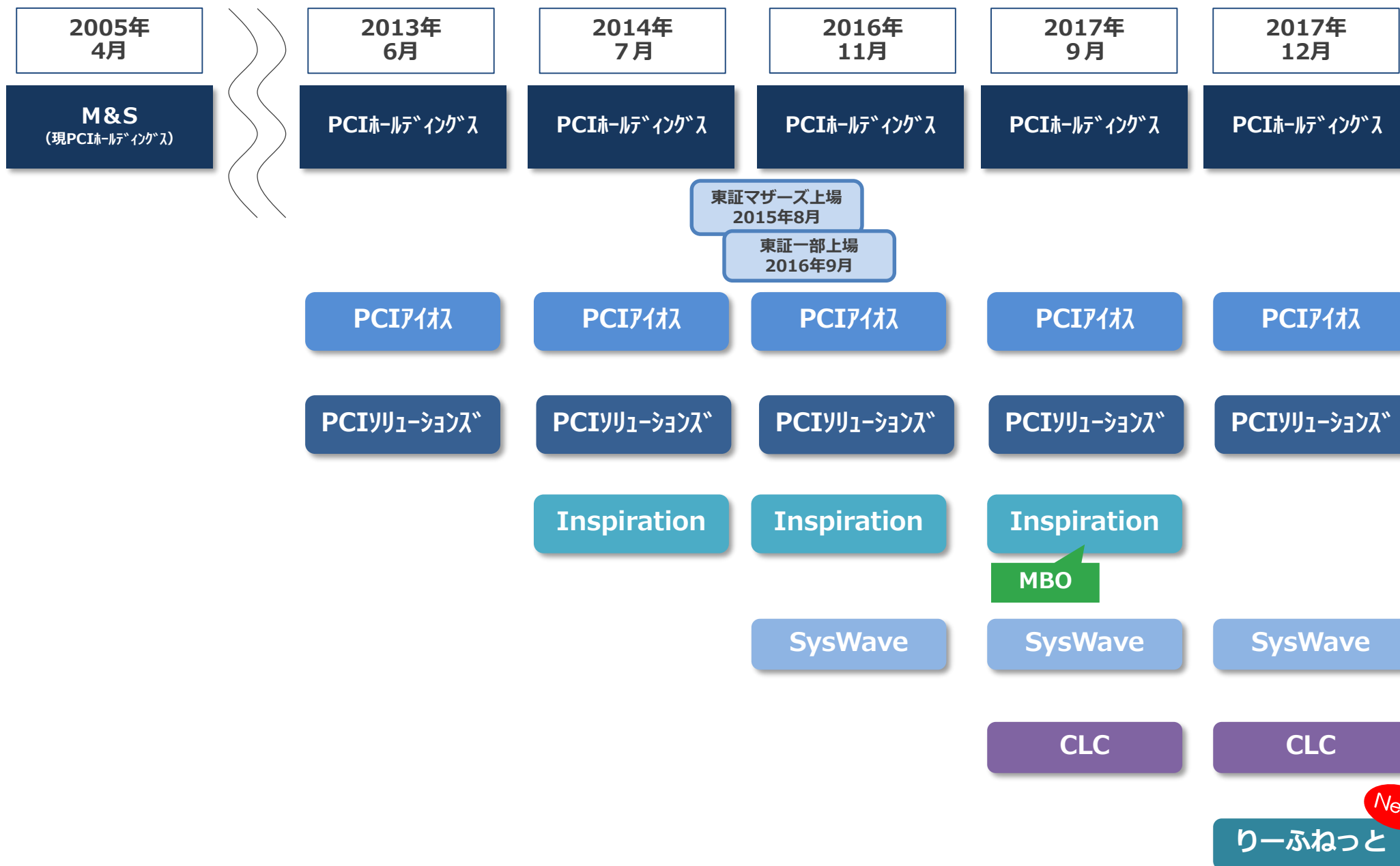
- 安定した事業成長を実現します
- ユーザに適したソリューションを提供します
- 応援して頂ける企業を目指します
- 積極的（**P**）に変化（**C**）を求め、革新（**I**）します
- 全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を目指します

(注) **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate



# 会社の事業内容について ～ グループ沿革 ～

概要



## PCIソリューションズ

エンベデッド  
ソリューション

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション

### 当社グループの連結売上高の約90%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

## PCIアイオス

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション

### オープンソースソフトウェアを活用した、短期間且つ高品質な開発を得意とするソフトウェア開発事業会社。

オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

## シスウェーブ

半導体トータル  
ソリューション

### LSIの世界を支えるテストエンジニア企業

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

## シー・エル・シー

ビジネス  
ソリューション

### ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。

## りーふねっと

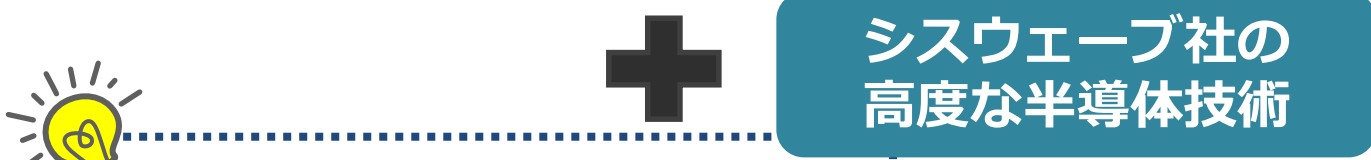
New!

IoT/IoE  
ソリューション

### お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強みを持つ

企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。





さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。  
参入障壁は極めて高い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。  
参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。  
参入障壁は高くない。



### IoT / IoEソリューション

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、Connected Worldへの貢献

## 成長分野

### エンベッドソリューション

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

## 収益基盤 (安定成長)

・

## 高い技術力の源泉

### ビジネスソリューション

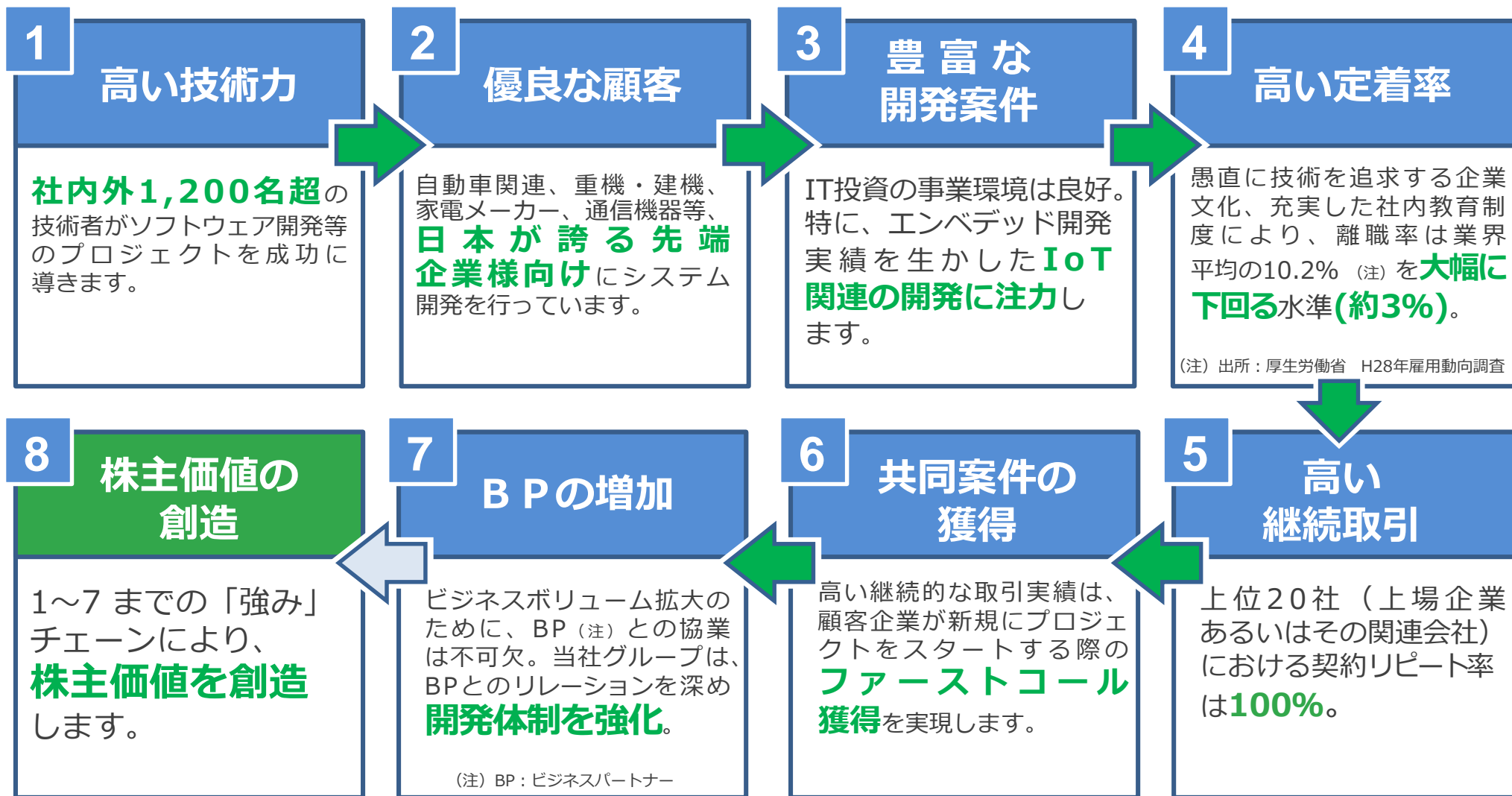
- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

## P C I ホールディングスの事業基盤

**技術力** 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組込み・半導体」

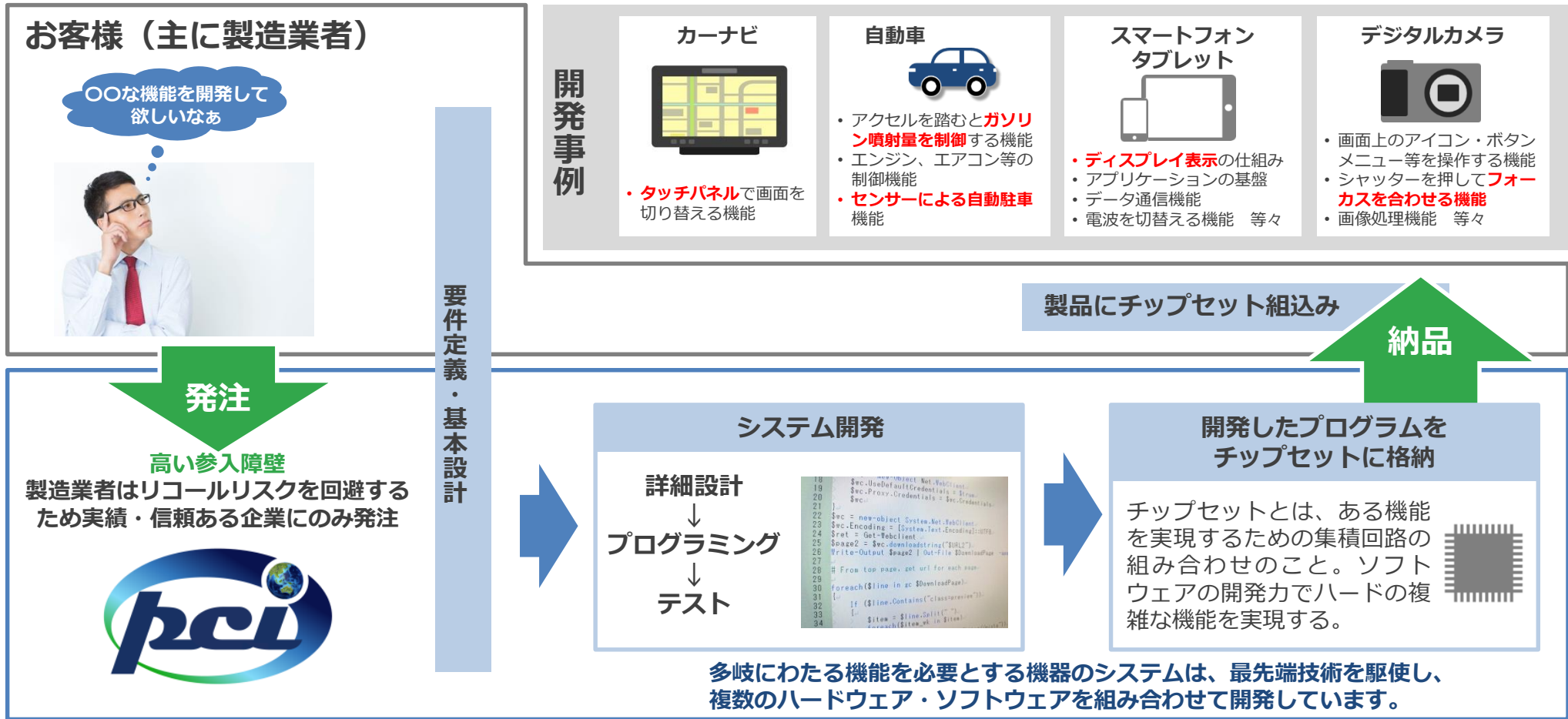
**知的資本** 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」





(注) 各データは、2017年9月期末時点のもの

- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 グループ戦略室  
E-mail [ir@pci-h.co.jp](mailto:ir@pci-h.co.jp)



[IR Movies](#)

Copyright (C) 2018 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.